

日語^{文型}_{語形}分類解説

北京外国語大学

潘 国 男

日語^{文型}_{語形}分類解説

北京外国語大学

潘 国 男

前 言

本书系收集日本现代报刊杂志“朝日新闻、读卖新闻、中央公论、朝日杂志”等从1971年至1974年四年间所使用的句型、语形而编写的。在编写过程中，调查研究了使用实况，并从表达方式及使用特点上作了分类和解说。

它是根据教学的需要，为更好地编写我所担任的“报刊讲读”、“日本地区讲座——现代日本的政治经济”等课程的教材和讲义而对句型、语形开始着手收集、调查、分类和解说。

报刊讲读在地区研究中占有非常重要的地位。因此，现在日语教学的实践要求通过重视连接和呼应形式的句型、语形教学，来提高学生的阅读理解报刊杂志的能力。

报刊杂志使用的句型、语形有它独特的特点，是回避不了的。这就有必要引导有关学习者正确而迅速地领会以多种多样的连接和呼应形式所组成的表达方式。为此，面临着分析解说各种句型、语形所具有的特点及与其他句型、语形的异同的任务。

我尽管从事着地区研究如何同日语教学有机联系起来这一课题，但这种工作对没从事过语言学和日语语法专业的我来说是极为严峻的。

本书因具有上述内容和特点，对于日本的日语教学研究者编纂教材和解说句型、语形方面，可供作参考资料；对于中国的日语教学研究者和日语专业的学生、中国留学生及一般自学者，也会成为一本句型、语形辞典。

另一方面，我相信，释义和解说及例句部分的中译文，将对迄今往往以词汇为中心学习中文的人，在翻译现代报刊杂志使用的句型、语形时，也可供作翻译的参考资料。

在编写过程中，得到北京外国语学院和本院日语教研室教师和同学们的热心指导和积极协助，在此，谨表深切谢意。并向在日进修期间予以热情指导和深切关怀的日本国立国语研究所日语教育中心的所长野元菊雄先生及该所日语教育进修室室长水谷修先生致以衷心的感谢。在出版过程中，又深受秀英出版社山本春男社长、铃木登董事的积极支持，尤其是得到了该出版社编辑部部长金森良之先生的有益建议和鼓励，谨此表示谢意。

1979年4月

潘 国 男

体例说明

一 句型、语形的收集

本书的句型、语形是收集日本现代报刊杂志《朝日新闻》、《读卖新闻》、《中央公论》、《朝日杂志》等从1971年至1974年四年间所使用的句型、语形，共计1057条。

二 分类方法和编排

句型、语形是以表达方式(意思)来分类的。是以同义的或类似的句型、语形排列的。

- 例: 164 (句)という状態(だ)
 165 (句)という有様(だ)
 166 (句)という始末(だ)
 167 (句)というていたらく(だ)

三 释义和解说

除对各句型、语形附有(1~3)条释义外，并有语法上的简单说明和使用上的特点。

(1) 释义

主要以如下三形式表示。

- 例: ①相当于汉语的「一定要……」「势必是……」〔中国語の「一定要……」「势必是……」に当たる。〕
 ②表示〈推量〉〔「推量」を表す〕
 ③特点和区别〔特徴と相違〕

(2) 解说

对具有突出特点或区别的句型、语形，特予以重点解说。为提供解说的充分依据，对每条句型、语形，从报刊杂志中平均收录50~60条实例，并对其特点、区别均作了分析和探讨。

- 例: 173 <体言>・(動詞終止)につれて
 174 <体言>・(動詞終止)にしたがって
 175 <体言>・(動詞終止)にともなって

相当于汉语的「随着……」「伴随……」。

<特点和区别>

(1) ……につれて・……にしたがって

一般叙述紧接着出现的〈事态发展、新局面〉等。可以下接肯定或消极的内容。

〔普通、ついでに現れる「事態の発展、新たな局面」などを叙述する。次に肯定あるいは消極的内容が続く。〕

(2) ……にともなって

往往下接消极、否定的内容。一般着重强调由于某种事态的增多、发展而带来的不良的后果。

〔往々にして消極的、否定的内容が次に続く。普通ある種の事柄の増大、発展がもたらすよくない結果を重点的に強調する。〕

四 参考和注

根据误用研究的统计数据，在语法上或惯用上对应需注意的连接方式和不同使用情况等均指明其注意事项，同时又作为参考提供了同义的和类似的句型、语形。

例：906 (動詞終止)べからず (文語推量助動詞くべし)的未然形

〔注〕

①接在サ变动词下，必须接在「……する」下。

〔サ変動詞に接続する場合は、「……する」の下に接続する。〕

②「……べからず」常用在通告、禁令、各种布告上。

〔「……べからず」は常に通告・禁令・各種布告に用いる。〕

13 (体言)は目に見えている

〔注〕「……は目に見えている」

多用于叙述消极内容。〔消極的叙述に多く用いる。〕

〔参考〕「(体言)は歴然としている」

五 一般例句和重点例句(解说部分)

对各句型、语形，根据需要配备了2~5条实用例句。一般例句省略了中文译文；说明〈特点和区别〉部分的重点例句均附有中文译文。例句内容以反映中日友好、中国的社会主义建设及日本情况等方面的为主。

六 索引

书末附有意义索引和语形索引。前者是为系统地学习和研究表达方式用的，后者则供查找新出现的句型、语形。

4 体例说明

为查找方便，特将语形索引部分的各句型、语形以日文五十音图顺序排列。

此外，书中〈注〉、〈参考〉的句型、语形，均附载于意义索引和语形索引之中。

七 标记和略语

标记：本书中的标记如下：

- (1) (体言)は必至(だ)
(体言)ほど(活用語連体)ものは少ない
()内表示连接品词及其活用形。
- (2) <(体言)・(活用語終止)>にせよ
表示句型、语形同く>中的()・()之一连接。
- (3) (体言)によれば(よると)
表示括弧中的“よると”可代换“よれば”。
- (4) 引用的例句标记中有稍做加工者。

略语：〈出源〉“朝日”——朝日新聞(朝日新闻)・“読売”——読売新聞(读卖新闻)・“朝日ジ”——朝日ジャーナル(朝日杂志)・“毛選”——毛沢東選集(毛泽东选集)

〈语法用语〉(動詞連用)——动词连用形・(活用語連用)——活用语连用形・(形動語幹)——形容动词词干

まえがき

本書は、日本の現代新聞・雑誌(朝日・読売新聞、朝日ジャーナル、中央公論等)の各4年間(1971~74年)に用いられた文型・語形を集録し、その使用実態を調査研究した上で、表現形態・使用特徴の角度から分類・解説をしたものである。

こうした調査・分類・解説に取り組んだのは、“新聞講読”“日本地域講座—現代日本の政治・経済”等のゼミの教材と講義をよりよいものにしたいと思ったからである。

いうまでもなく、新聞講読は地域研究においてきわめて重要な位置を占めている。それ故に、現在日本語教育の現場で連接・呼応形式に重きを置いた文型・語形教育による新聞・雑誌読解力の向上が叫ばれている。新聞・雑誌にはそれなりの文型・語形があり、それを避けて通ることはできない。そこで、多種多様な連接・呼応からなる表現パターンを正確かつ迅速に読解できるように指導する必要があるといえる。

そのためには、どうしても各々の文型・語形の持つ特徴及び他の文型・語形との異同を分析・解説しなければならないことになる。

この作業は、地域研究と日本語教育の有機的な連関という課題に取り組んでいるとはいえ、国語学専攻でない著者にとっては大変厳しいものであった。

上記の内容と特色とは、日本の日本語教育研究者にとっては、教材編纂・文型解説等の参考資料として利用できると思う。また、中国の日本語教育研究者並びに日本語専攻の学生、中国留学生、一般独習者には、文字通り文型・語形辞典となろう。

一方、訳語・解説・例文部分の中国語訳は、これまではややもすれば語彙中心の勉強になりがちだった中国語学習者にとっても、現代新聞・雑誌の文型・語形を現代中国語に翻訳するための参考資料となるものと信ずる。

末筆であるが、この研究に物心両面から絶大なる援助と指導を与えて下さった北京外国語大学、並びに同大学日本語教育研究室の先生方、そして学生諸君に深く感謝する。

来日研修中に温かいご配慮とご指導を賜った国立国語研究所日本語教育センター長の野元菊雄先生と、同センター日本語教育研修室長の水谷修先生に厚く御礼を申し上げる。

6 まえがき

また、本書出版を快諾して下さった秀英出版の山本春男社長、並びに、適切な助言と励ましをその都度与えて下さった同社各位の方々にも敬意を表する。

1979年4月

潘 国 男

凡 例

1 集録文型・語形について

本書には、日本の現代新聞・雑誌(朝日・読売新聞、朝日ジャーナル、中央公論等、1971～74年)に用いられた文型・語形1,057が集録されている。

2 分類方法と構成について

集録文型・語形は表現形態(意味)で分類し、同義・類義の文型・語形を配列した。

- 例: 164 (句)という状態(だ)
 165 (句)という有様(だ)
 166 (句)という始末(だ)
 167 (句)というていらく(だ)

3 訳語・解説について

各文型・語形に訳語一～三を配したほか、文法上の簡単な説明と使用上の特徴について解説を付記した。

(1) 訳 語

主に次の三つの形で示した。

- 例: ①相当于汉语的「一定要……」「势必是……」〔中国語の「一定要……」「势必是……」に当たる〕
 ②表示<推量>〔「推量」を表す〕
 ③特点和区别〔特徴と相違〕

(2) 解 説

文型・語形のうち、その特徴または相違点・一致点が際立っているものは、特に重点的に解説した。なお解説に十分な根拠を提供するため、各文型・語形ごとに新聞・雑誌から平均50～60の例を集録し、その特徴・相違点について分析検討した。

- 例: 173 <(体言)・(動詞終止)>につれて
 174 <(体言)・(動詞終止)>にしたがって
 175 <(体言)・(動詞終止)>にともなって
 相当于汉语的「随着……」「伴随……」。

〈特点和区别〉

(1) ……につれて・……にしたがって

一般叙述紧接着出现的〈事态发展、新局面〉等。可以下接肯定或消极的内容。

〔普通、ついでにたち現れる「事態の発展、新たな局面」などを叙述する。次に肯定あるいは消極的内容が続く。〕

(2) ……にともなう

往往下接消极、否定的内容。一般着重强调由于某种事态的增多、发展而带来的不良的后果。

〔往々にして消極的、否定的内容が次に続く。普通、ある種の事柄の増大・発展がもたらすよくない結果を重点的に強調する。〕

4 参考・注について

誤用研究のデータをもとに、文法上あるいは慣用的に注意の必要な接続のしかたや使用状況の違いなどについての注意事項を指摘するとともに、同義・類義の文型・語形を参考として出している。

例：906 (動詞終止)べからず (文語推量助動詞〈べし〉的未然形)

〈注〉

①接在サ変動詞下，必須接在「……する」下。

〔サ変動詞に連接する場合は、「……する」の下に連接する。〕

②「……べからず」常用在通告、禁令、各种布告上。

〔「……べからず」は常に通告・禁令・各種布告に用いる。〕

13 (体言)は目に見えている

〈注〉「……は目に見えている」

多用于叙述消极的东西。〔消極的叙述に多く用いる。〕

〈参考〉「(体言)は歴然としている」

5 例文について

各文型・語形には、必要に応じて二～五の実用例文を掲げた。〈特点和区别〉について解説した例文には、中国語訳を付けてある。例文の内容は、主として中日友好、中国の社会主義建設と日本事情である。

6 索引について

巻末に「意味索引」と「語形索引」とを掲載した。「意味索引」は表現形態を

系統的に学習・研究するためのものであり、「語形索引」は新たに接した文型・語形を検索するためのものである。特に「語形索引」は、学習者にとって文型・語形辞典として本書を活用できるよう、各文型・語形を50音順に配列してある。これには本文中の〔注〕〔参考〕にある文型・語形も含めてある。

7 表記と略語について

表記：本文中の表記は次の通り。

(1) (体言)は必至(だ)

(体言)ほど(活用語連体)ものはない

()内は連接品詞及びその活用形を示す。

(2) <体言>・(活用語終止)にせよ

< >内の(体言)・(活用語終止)は、このいずれかに「にせよ」が連接することを示す。

(3) (体言)によれば(よると)

(よると)は、「よれば」に言い替えが可能であることを示す。

(4) 引用した例文で出典を明示したものうち、漢字・仮名遣いを多少変えたものもある。

略語：〈出典〉朝日—朝日新聞・読売—読売新聞・朝日ジ—朝日ジャーナル・毛選—毛沢東選集

〈文法用語〉(動詞連用)—動詞連用形・(活用語連用)—活用語連用形・(形動語幹)—形容動詞語幹・(サ変動詞)—サ行変格活用

文 型 · 语 形

断 定

- 1 (体言)は確實(だ)
- 2 (活用語連体)ことは確か(だ)
- 3 必ず(助詞連体)に決まっている
- 4 (体言)は間違いない
- 5 (体言)は疑いない
- 6 (体言)は必至(だ)

表示「确实」<「可靠」。根据断定的强意程度分成以下三种类型，强意程度由(1)到(3)逐渐加强。

〔「确实さ」「確かさ」を表す。断定の強意の程度により，次の3種類の型に分けられ，その強意の程度は(1)から(3)へと逐次強まる。〕

<区 別>

- (1) ……は確實(だ)・……ことは確か(だ)・必ず……に決まっている

相当于汉语的「确实……」「一定会……」，用于根据可靠依据作断言。

〔中国語の「確實……」「一定会……」に当たる。確かなよりどころをもって断言する場合に用いる。〕

○いずれも，今日13日に予定されている都議会本会議で可決，成立するのは確實。(読売 78.9.13)

这些一定会在今天(十三日)所预定召开的东京都议会全体会议上通过成立。

○「総選挙以後では遅すぎる」という考えが両独代表の間で強まってきたことは確かである。(朝日 72.10.16)

「总选举之后未免过迟」的想法在东西德代表之间确实日益强烈起来。

○日本人民の北方四島返還要求の正義の闘争は，必ず最後の勝利をおさめるに決まっている。

日本人民要求归还北方四岛的正义斗争，一定会取得最后胜利。

○甘えさせると「今日の練習も休ませてくれ」と言うに決まっている。(朝日 74.1.12)

要求不严就一定会提出「今天的练习，我不参加」。

- (2) ……は間違いない・……は疑いない

相当于汉语的「……是确定无疑的」「肯定地说是……」「……是毫无疑问的」。用于强调自己的断言有可靠依据。

〔自らの断言には確かな根拠のあることを強調している。〕

○今年度上半期の生産計画の超過達成は間違いない。

超额完成今年上半年的生产计划是确定无疑的。

○薄氷の勝利であったことは間違いない。(朝日 74.3 23号)

可以肯定地说是勉强取胜的。

○世界の石油需要が大幅に上昇する70年代の情勢は、産油国に一層有利に展開するであろうことは間違いない。(朝日 72.10.16)

世界性石油需求大幅上升的七十年代形势，将对产油国更加有利是毫无疑问的。

○中国は今四つの近代化に取り組んでいる。これがわが国との経済交流を活発にし、科学技術の交流の密度を濃くすることは疑いない。(日本と中国 78.10.5 復刊533号)

中国现在正进行四个现代化。它将促进和充实同日本的经济交流和科学技术交流，这是毫无疑问的。

○マルクス・レーニン主義の普遍的真理と日本革命の具体的実践とを結びつけること、これを真剣に成し遂げさえすれば、日本革命の勝利は全く疑いない。(毛主席が日本の労働者に贈った重要な題辞)

只要认真做到：马克思·列宁主义的普遍真理与日本革命的具体实践相结合，日本革命的胜利就是毫无疑问的。

(3) ……は必至(だ)

相当于汉语的「一定要……」「势必是……」。用于强调事态发展的必然趋势。

〔事態発展の必然的趨勢を強調するときに用いる。〕

○あすのゼネストは必至。国電除き、マヒ状態か。(朝日 74.4 10)

明天的总罢工将一定进行。除国营铁路外是否要处于瘫痪状态。

○こうした情勢の中で、国債を大幅に増発することはそれが市中消化されるにしても、インフレムードを刺激することは必至だ。(朝日 72.10.16)

在这种形势下，大幅度增加发行的国债即使被社会购了，经济萧条也势必更加严重。

7 (体言)こそ(体言)なり

○閉結こそ力なり。〔「こそ」=現代口語副助詞。「なり」=文語断定の助動詞「なり」の終止形。〕

口語和文語的结合体句型((体言)こそ(体言)なり)常出现在口語中，表示

①<提示><强意>②<概括><定义>，一般借用「なり」的强意作用加重断定语气。

〔口語・文語の結合文型「……こそ……なり」は、よく口語に現れ、①「提

示「強意」②「概括」「定義」の意を表し、一般に「なり」の強意作用を借りて断定の語気を強める。]

8 きまって(体言)だ

相当于汉语的「无非……」「势必是……」。

○中国の北方では、春節(旧正月)にはきまってギョーザだ。

○観光旅行の場合は、きまって京都か奈良だ。

9 (体言)にほかならない

相当于汉语的「就是……」「肯定是……」「不外(是)……」「无非是……」。

○中日友好は、中日両国人民の心からの願いにほかならない。

○マラソンは、結局のところ自分の意志との闘いにほかならない。

10 (体言)は至難

相当于汉语的「……是极其困难」「……难以实现」。

○これほどのスピード建設は至難であったことと思うと、あらためて敬意の念をおぼえた。

○薬剤をそろえることは至難であるのに、とにかくあの難病を完治するとは全く驚いた。

11 文字通り

相当于汉语的「不折不扣」「的确确实」。

○文字通り、手に汗にぎる熱戦で、見事なプレーが続出。

○今大会は、文字通り団結・勝利の大会として恥じないものであった。

12 (体言)は明らかだ

13 (体言)は目に見えている

相当于汉语的「显然是……」「……是清楚明白的」。

○条件づくりのむずかしさもあって、時期尚早は明らかだ。

○両チームの実力の差は明らかだ。

○このままでは、行きづまるのは目に見えている。

〈注〉「……は目に見えている」

多用于叙述消极的内容。〔消極的叙述に多く用いる。〕

〈参考〉「(体言)は歴然としている」

14 まさに、(体言)(なの)だ

15 まさに、(体言)じゃないか

相当于汉语的「真是……」「还不真是……吗」。

○これら古代建築物は、まさに、当時の日本人民の知恵と汗の結晶なのだ。

○都会に出ても、暮らしがよくなるわけではない。職があればいいほうで、

重労働と低賃金だけが持っている。まさに、去るも地獄、残るも地獄じゃないか。

16 もはや、(体言)ではない

相当于汉语的「不再是……」。

○今日の新中国は、もはや半封建・半植民地の過去の中国ではない。

○もはや、過去の戦争状態のままではなく、友好的におつき合いをする状態となった。

17 なにしろ、(体言)が(体言)だ(から)……ない

表示「因为……所以不能……(或不行、没有、没办法)」「反正……因此、很难……」。同时用来可以表达“实在难办”“无可奈何”之类的消极情绪。

〔同時に、「全く困ったものだ」「ヤンヌルカナ」の類の消極的な気持を表す。〕

○なにしろ、問題が問題だから、そう簡単にはできそうにない。

○あそこの交通並びに地理(立地)条件がああいいうもんだからねえ、なにしろ……。

18 (体言)でなければ……つまり(要するに)……だ

19 (体言)でなければ……ほかでもない、……だ

相当于汉语的「不是……就是……」。

○タイヤの穴のあき具合からみて、画ビヨウでなければ、つまり(要するに)クギだね。

○この善行は、Aさんがやったのでなければ、ほかでもない(く)、Bさんがやったのだ。

20 (体言)ではなく(体言)である

相当于汉语的「不是……而是……」。

○住みよい都市の生活環境を形成していく道は、国民一人ひとりが自分の権利だけを主張するのではなく、他人の痛みを知り、譲歩し合い、問題を出し合っていくことである。(読売 78.10.14)

○偶然のものではなく、必然的産物であるといわねばならぬ。

(参考)「(体言)であって、(体言)ではない」(=「是……而不是……」)

21 とどのつまり、(句)ということだ

22 結局のところ、(体言)だ

相当于汉语的「归根结底就是……」。

○商品先渡しの分割払いは、とどのつまり、“多売多利”の一形式ということだ。

○結局のところ、双方の誠実度の問題だ。

〔参考〕「(体言)をつきつめていえば、……ということになる」(=究竟・说到底)

「つまるところ……につきる」(=终究)

23 (動詞連用)でも差し支えない

24 (動詞連用)でも差し障りはない

25 (動詞連用)でも支障が(は)ない

相当于汉语的「不妨……」「……也可以……」。

〈特点和区别〉

(1) ……でも差し支えない

这个句型是由(接助)「ても」和(自下=有妨碍)「差し支える」+(助动词)「ない」来构成的。一般带有微弱的断定语气。这种说法多用于作者或发言者谦虚谨慎地提出自己的见解、分析和估计的时候。

〔普通弱い断定の語気を表す。作者あるいは発表者が自己の見解・分析・見通しを謙虚かつ慎重に述べる場合に多く用いる。〕

○今年の中日貿易取引額は、去年の40%増になると見積もつ(みつもる=估計)でも差し支えありません。

不妨估计今年的中日贸易交易额将比去年增加百分之四十。

○そういう意味に理解しても差し支えないでしょう。

这样去理解，也可以吧。

(2) ……でも差し障りはない・……でも支障が(は)ない

多用于强调「做了某种事后也没有什么不好的影响」。

〔ある事をした後も、これといって悪い影響がないことを強調する場合に多く用いる。〕

○今の回復ぶりからみて、来週には退院しても差し障りはないでしょう。

从目前的复元情况看，下周不妨便可出院了。

○その線で交渉しても支障はないと思います。

不妨按这个精神去交涉。

26 (動詞連用)でも無理はない

27 (体言)も無理はない

相当于汉语的「不无道理」「难怪……」「怨不得……」。

○怒っても無理はない。それだけの理由がある。

○主婦たちの心配も無理はない。何しろ、こう雨が続いてはね。